

名誉の追加

美しい津奈木 づくりで表彰

古中屋の山崎直次郎氏は、津奈木町を花でうすめよとの意気込で、花苗を作り、買いつけて、たれかれとなく配っていられる努力をかい。

浜老人会が来て、津奈木中から流れ集まるゴミを掃除していることは久しい。その美化に老人いまだ老いの意気込みでがんばっていられるのを認められて。



西川徹氏は本町新川出身で、故西川潮吉氏長男、故山下満太郎氏の甥、西川三好氏は母方からとって従弟にあたる。宮崎高農を出て九大農学部卒、青森県営林局長などとして、現在、八王寺市にある林業講習所所長である。

津奈木の皆さん、明けまして、おめでとございます。このたび、中央公民館から郷土への便りを書くよう御指示があり、初めて筆をとりましたが、懐かしき郷愁で胸を

老人スポーツ大会 で優勝

津奈木婦人会も表彰されるといふときは、まさかと思われたが、かねて道路に花を植えたり、川すじを掃除したりしていたことが、

右三者は十一月二十一日知事から表彰を受けた。

昨年十月十七日、湯浦運動公園で才一河北水俣地区老人クラブ、スポーツ大会が開かれた。二〇〇メートル・年別別リレーなど、沢一杯です。

私が進学のため郷土をあとにしたのは昭和十年の春でした。林野庁に就職したのが昭和十七年で、すから、かれこれ三〇年の長い間、

新年の御挨拶

郷土出身
西川 徹氏

疎遠になってしまいました。誠に申し訳ない次第です。この公民館報「津奈木」の読者は若い方が多いと思ひます。私を知っている人は少ないのではないのでしょうか。さて経済の高度成長によって社会の流れが大きく変わって来ましたが、

芦北・水俣 陸上競技大会

水俣市・津奈木町・芦北町・田浦町の陸上選手が、十一月十九日、水俣市塩浜グラウンドで技を競った。

優勝は水俣市であることには不



山の間目、みな老人パワーを発揮して大にきわい、この大会で津奈木町老人クラブが優勝。

全国青年総合祭に参加して

西平 恵美子

十二月八日、東京で行なわれた全国青年祭に参加させてもらうことができたことは、青年団時代の一つのよき思い出をつくることになった。

開会式、あの広い国立競技場が各県からの若人七千余名で埋められ、あふれる若さで小さく感じられた。

一人一人のユニホーム姿には「やろぞ」という闘志がみなぎっていた。四十三番、いよいよ熊本県の入場、行進していきながら、足がしかり地につかない。あんな大きな大会なので、無理のないことかもしれない。でも、青年団に入っていてよかった。もし、入っていなければ、あんな感激の機会にも恵まれず、あるいは東京にも行けなかったかもしれない。

剣道けいこ納め

津南中学剣道部

津南中学剣道部は、去る十二月三十日、三十一日に行き納めを行った。日野六段・明石五段(津南中教頭)・応援の浜田(五段)先生(かつて津南中に教鞭をとり、剣道も指導)。

それ、津南中のOBの日野昇四段、吉村利三、弘明二

わたしたちの学校

六年 伊藤 泰子

わたしたちの学校は、津奈木町立津奈木小学校です。

二年新築したばかりの美しい校舎です。そして、今また体育館が建設中でもあります。

現在、津奈木小学校は、緒方校長先生をはじめ、二十人の先生方と、四百三十三人の生徒が、全校あげて理科教育に力を入れて、がんばっています。

このすばらしい環境の中で、わたしたちの学校は、卵からかえした金魚をはじめ、教材に使う魚が泳いでいます。

飼育舎には、七面鳥や小鳥がさえずり、飛びかっています。

広い敷地のいたる所に、年中絶やさない花づくりがなされ、学校をとりまく山の緑の中に映えて、花園のお城みたくです。

編集後記

公民館報編集委員 誕生

岡松教育長が退任されたあと、引き続き、住民に親しむため、よりよい館報を皆さんにお届けするため、昨年十一月、次の方々が公民館報編集委員に選任されました。編集委員会は、皆さんの投稿をのぞんでいます。

委員長 岡松 壮
委員 教育委員 農中三澄
校長 緒方重紀
全 老友クラブ 永松登弥
全 区 長 堀 二雄
全 婦人会 岡松力キ
全 青年団 山路英樹

右のとおりの方々が、公民館報をつづけられることになりました。私が委員長とまわり上げられ、編集委員をまわされることになりました。今までは、何もかも私一人で行っていましたが、これから、前記の委員さんや伊藤先生の知恵をかかりたいと思います。愛読下さる方が増えると思います。

(岡松)

郷土作りに頑張ろう

町長 鶴田 宣尊



日本は経済力が世界的にの上つた今日、その反面、いろいろのヒズミが生れ、私たちの生活に幾多の障害をおこしています。現代では小手先の修正では間にあわず、抜本的に日本列島全体のバランスを考えて、政治政策を建てるよう打出されたのが、例の日本列島改造政策であります。今年から具体的政策化され、法律化されて、私たちの地域にもドンドンと押寄せてくることと思われます。役員職員一同も時代感覚を新たに

輝く年に

町議会議長 川崎 一幸



一九七三年の年頭にあたり、町議会の名をもって、ここに謹んで新年のご祝詞を申し上げます。

町民のみなさん、明けましておめでとございます。ここに希望にあふれる新年を迎えて、皆様方のご清福とご繁栄を、心からお祈り申し上げます。

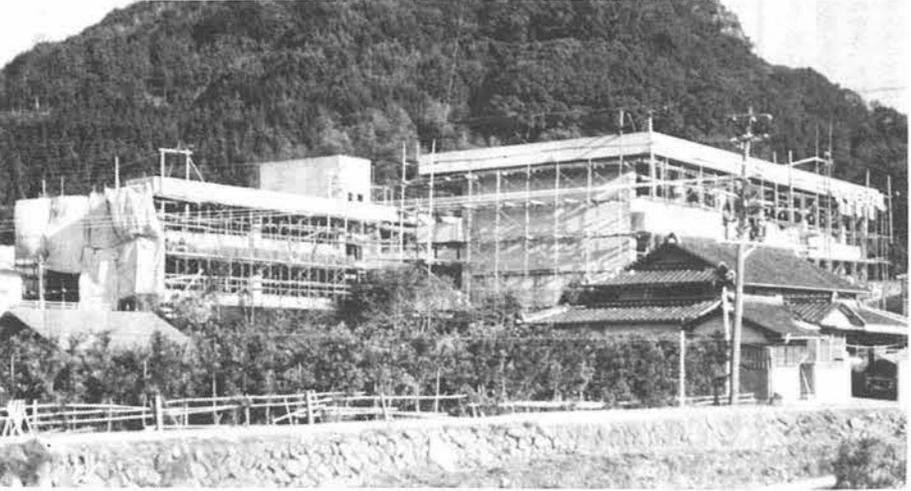
激動波瀾の年といわれた昨年は、文字どおり、内外ともに多事多端な年でありました。

新年 謹賀



津奈木

発行所
津奈木公民館
芦北郡津奈木町
電話 (代表115番)
編集 編集委員会
印刷所 緒方印刷所
八代市通町
電話(八代) 3117番



完成まじかい津南中学校

をこの際一掃して、大きい広い気持ちになり、ひたすら郷土の薬園化を目指して頑張らなければならぬと、つくづく思ひます。

若い青年は力と夢を、可憐な若人は知恵と力を出しあって、町の中軸となつて、政協力を打って一丸となつて働き抜いて町の発展を期し、功なり名遂げられた老人の方々、ご不幸の人々のために、私たちの力でお互に助け合い、物心両面にやかなな、住みよい郷土を作ろうではありませんか。そして、今年こそは町民皆様のよき年でありましようとお祈りして、まして年頭のご挨拶いたします。

日常生活に直結する生活環境をととのえて、町民の福祉向上をはかる諸施策を積極的に推進しなければならぬと存じます。

これからの地方自治体は、名実共に内政の力となつて、ゆたかな地域社会の建設に取組まねばなりません。私としては一九七三年を津奈木の町年として、ほこり得る輝かしい時代にする努力をしたいと思ひます。議決機関であるわれわれ議会も、本年もまた皆様方のおしなないご支援を背景に、終始公正に心がけ、町民六百三百有余人の信任にこたえ、町政の諸問題を慎重に審議し、町民各位のご期待に副しよう努力する決意であります。どうか、町政に対する皆様方の、より一層のご理解とご協力を願ひしまして、新年のご挨拶いたします。

親子三十分読書

小学校時代から読書の習慣をつけておけば、その人はさきさき無限に伸びることができるというので、前米村校長のころからしきりに家庭にまで呼びかけて、すなわちおられた。

笠原長になって、家庭教育学級で「親子三十分読書」を強化してゆこうということが決定された。

家庭でもっと、読書が大事だとわかっていても、なかなか読めないものである。せめて、子供に引かれて、仕方なく本に親しめば、それだけに子供を伸ばす良いお父さんであり、よいお母さんであるわけである。

子供が、声を出して教科書とか本を読むのを、家族のものが聞いているというのを本として、できるだけ、読んだ内容について親子で話合うというのである。時間は朝の七時三十分から八時までと定めておいて、家によつては早くあるいはおそく、あるいは三十分が十分になつても、長くなつてもそんなことは問題でなく、要は実行し、続けることである。

学校では毎月、読書記録表を各家庭に配って調査することになっている。

平国小学校で読書についてアンケートをとったものがある。一部を紹介する。

①本を多く読ませたい。
②四月・十月まで読んだ本(一人平均)
一年なし 二年 七冊
三年 三、四冊 四年 九、二冊
五年 一〇冊 六年 六、四冊

- (1) まんが 六〇・三%
- (2) 童話 一八・三%
- (3) 地理・科学・空想 四・一%
- (4) 歴史 三・四%
- (5) 発明発見 二・五%
- (6) テレビを見る時間 四・一%
- (7) 三十分以下 一七・三%
- (8) 三十分一時間 三三・〇%
- (9) 一時間以上 一九・一%
- (10) 三時間以上 一三・三%

美しい津奈木づくり

県では、いま「美しい熊本づくり」を、町では「これにたえて美しい津奈木づくり」を進めています。私たちのまわりには、花とみどり育て、町にも家庭にも、そして人間の心に平和と愛をもたらし、豊かな心をくむ「花いっぱい運動」をその一環として、昨年九月から運動をはじめました。

東南アジア旅行

幻滅のインドネシア

伊藤 信夫

インドネシア時間の午後八時二十分、定刻カマヨラン空港に着。周囲は暗くて何があるか、さっぱりわからぬ。待合室へこれが、一国の国際空港か。また伊丹空港の面影が脳裏にある僕は、どうも貧弱に見えたらぬ。その割にポーターは必要以上に多い。

税関の検査が始まると、荷物はかけておいておく。僕のところにも三人かよった。運んでもらう必要もないので拒んだが、いくら拒んでも聞かないでしつこく持とうとする。持つとしても、二、三米の距離である。ようよう負け

てシヨルターバックを持たれてしまったので、すかさずチップ要求に有利難迷惑である。小銭がないので、一ドル紙幣を払っていった。しかし、どうも余分に払ったらしい。普通、一〇〇ピア(九円)くらいでよかつたらいいのだが、自分は約三、四倍払ったことになる。この文なし旅行者が金持ちに見えたらぬ。こんどは、どっちにせよ見せたい。こんどは、どっちにせよ見せたい。

こうなることも必死である。荷物をしっかりと小脇にかけ、出口に向つたが、こんどは出口には浮浪者・タクシードライバー・ベチヤ(足踏三輪車)の車が待ち伏せている。

この人波をかき分けて進むにはどうしたものか?

その時、例の中国人がすばやくタクシードライバーをのせてくれた。行き先は予約済みのラマヤホテル、交渉で千ピア(約九百円)とすま。車はドイツ製ではあったが、シートは古くて破れて座り心地が悪い。

運転手は日本びいきらしく、電気製品や車、その他を日本から輸入している、自慢している。そういう、車から外をながめると、すれ合う車も殆ど日本製らしく看板という看板は日本のメーカーの広告である。

人々の服装はうすすぎた、貧弱であり、はだしの人が多い。南海の楽園といった幻想は音を立ててくずれ去った。僕が夢にまで描

館説

置土産

さきの衆議院議員選挙では、たゞの置土産があつたが、その最大のものは社会福祉であり、その中心をなすものは老人福祉問題であつたと思う。各党共通の主張を掲げて相争つて自白を珍らしいことであるが、こんな現象が生まれたいのは、とりもなおさず時の流れであり、国民輿論の然らしむるところである。選挙前各党が華々

しく掲げた老人福祉が今後急速に実現するならば、それは単に現在の老人の喜びばかりではなく、膨大な数の若年老人予備軍のため又何時かは若年老人のためにも喜ぶべきことであり、これこそ近代国家への歩みと思ふ。我が国の老人人口の推移は実に目まぐるしく今こそ対処に断然と実行を要するところと素人にもよくわかることである。

今回の総選挙が我々に残したこの置土産が一へんの空手形に終ることがないよう注視し監視すべきではなからうか。

(永松登弥)

成人者よ!

幸多かれ

昭和四十八年の成人式は、恒例によつて、一月四・五日の二泊二日間、約百名が参加して、会場津南中学校上作業室を会場に、体育館・公民館等を利用して実施された。本年は、津南中学校の建築によって、成人者各位に大変不便をかける仕儀となつたが、よく不便を克服して、成人者としての自覚のもとに、終始なごやかに実施された。成人式日程、次のとおり。

一月四日午後一時より二時まで、受付、二時より四時まで、フォーダンス・ゲーム、歌等の練習、四時より四時半まで夜のキャン

はあつた。それを振り上げて、思ひ切り振りおろすと、竹はしなつて喰ひを生じて大地に叩きつけられ、ポツーンと物凄いな音を立てる。

あちからでもこちらでも、夕暮れの静けさを破ってポツーン、ポツーンと威勢のよい音が響いて来る。子供のいない家では、大人の男がもぐら打ちをした。隣の父さんももぐら打ち。親父の種まきや一升まきや「アチ石ッ」と掛声しながら私達子供等に模範を示すようにして、「打ち二打ちにもぐら叩き殺すかのように威勢よく打ち続けた。

私は、庭中を叩いても、その下にもぐらがるような気がして、「この野郎!」「こん畜生ッ」といいながら懸命に叩き廻つた。畑



成人式 となつかしい母校体育館前に、こうして並んだ一人一人の顔をみると、学校時代の思い出が泉のようにわいてくる。10年後も20年後も50年後もこの思い出はかわるまい。

もぐら打ち

堀 二雄

田舎では旧正月十四日は、もぐら討ちの行事があつた。

もぐらは、地下に潜んで四通八達の専用トンネルを作って、田畑に害を及ぼす厄介なものである。何とも、もぐらは土遁の術にかけていて、仲々捕まえることができないので、お百姓さんは金もくもくにつらにつらに手をつかわれている状態である。

正月はもぐらももの願ひの月でもあるので、この際、大いにもぐらを討ち込めておこうとの心願の現れであらう。私達はもぐら打ちと云つて大いにやられた。

このもぐら打ちには、夕暮れ近くから各家々で始める。釣竿位の竹を、二、三米に切り、先に藁をたばねてくり付ける。大小ももぐらもある。大きいのは大人の脛位

まゆの初出荷を祝う

第二次農業構造改善事業で、辻に約二、六ヘクタールの畑ができて、本年四月、二十万本ばかりの桑を植付けられました。以来、入植者五戸は桑の手入に専念し、九月建てられた杜蚕飼育所五棟で、九月二十三日から、晩々秋蚕の飼育が始められました。

十月二十三日に、繭の初出荷が行なわれました。まるで養蚕に経験のない人たちがばかりで、結果が気づかれましたが、出荷量も一、〇〇〇キログラム、代金も一〇〇万円と上出来でした。

土々の収穫成績であったことを、心から祝福し、本町養蚕の健全なる発展を祈念してやみません。

町長 鶴田宣尊

眼鏡橋聞書

岡松 壮

大がいの石橋には頭領の名が残っていない。大工さんの場合は、家の棟木に棟梁の名を書いて打ちつけてある。石工さんでは、文字でないサインを残してあるものもある。津奈木眼鏡橋には、ひょうたんと蓋を浮彫りしてある。(たび岩の方の橋のたもと、右の南側にある)これが骨身をけする思いで造つた頭領の唯一の橋に残された手形である。

天神さんに詣ると、左に右と右が左とある。嘉永二年(西暦十一月)裏に徳富熊太郎一義とある。石橋建造のこの総屋原であった。石橋完成の年寄進してあることをみると、これも石橋しゅんしゅん記念ではあるまいか。

(これらを証明する資料があればお教え下さい。)

XXXXX

稲荷さん(竹中)の石段を上り切つた右の方に石の手洗鉢がある。その胸にひょうたん蓋を浮彫りしてある。眼鏡橋のとは蓋の位置が逆になっているが、眼鏡橋のよりはっきり出ている。私の推察であるが、石橋が無事完成したお礼に頭領が寄進したのではなからうか。

稲荷さん(竹中)の石段を上り切つた右の方に石の手洗鉢がある。その胸にひょうたん蓋を浮彫りしてある。眼鏡橋のとは蓋の位置が逆になっているが、眼鏡橋のよりはっきり出ている。私の推察であるが、石橋が無事完成したお礼に頭領が寄進したのではなからうか。

眼鏡橋の記録は、郡氏著郷土誌以外、私は知らない。同書によると、嘉永二年、当時の代官衛藤三郎衛門為経の築造、石工は岩永三平と呼び、鹿兒島の西田橋を造つた人と伝えられている。代官は定がびつ、石工は片腕なかつたので、当時の人は、津奈木眼鏡橋は親方チンバ、架くる頭領は手がチンバと云つた。

これから述べることは、私の推察である。

頭領のサイン

飲み水に最も不自由している大泊の一部、新川・古川・町中・桜戸・浜崎に、きれいな水を送り、衛生に、消防に、環境の整備をはかることし、岩城簡易水道の新設に着手、工事費総額は五千二百五十六万円で、四十八年五月に完成の予定。

岩城簡易水道の完成を待つ

飲み水に最も不自由している大泊の一部、新川・古川・町中・桜戸・浜崎に、きれいな水を送り、衛生に、消防に、環境の整備をはかることし、岩城簡易水道の新設に着手、工事費総額は五千二百五十六万円で、四十八年五月に完成の予定。

肥後狂句 堀 双岳選

松の内ちいっと大目に見ては、よ松の内禁酒はそが過ぎてかる
先ず一杯話して後で承ろう
大笑いといけんも止らん初当選
大笑い呑み振りまでが似たる孫

三選

先ず一杯やらん仕事は手につかん
銀世界高きんけし軒なむる
銀世界救急車は大繁昌
銀世界飲んで極楽目正月
大笑いたるまに目の玉書き入れて

拙者

先ず一杯よか縁談の整つた
大笑い根も葉も無かつ真に受け

竹市

次選

春爛漫、大当外れ
右二題で一人五句まで、一月二十日まで公民館に。投稿用紙は幅三センチ長さ一八センチ、氏名又は母要願を必ず上、下を七五で肥後并、肥後人気質をよみ込んで下さい。